

## サイエンスカフェの多様な展開

## 化学の現場を見に行こう

化学科 上村礼子

## 1. 目的

有機化学、無機化学で学ぶ試薬や製品が製造される現場の見学会を通して、授業で学習する知識を深めることを目的として、5月26日(火)に昭和電工(株)川崎事業所の見学会を企画した。

## 2. 概要

参加したのは、6年生8名と5年生6名の計14名で、以下のような内容で実施した。川崎事業所では、マイクロバスに乗り、事業所内の説明を受けながら見学することができた。

・電池電極材料、有機合成材料等の製造過程、廃プラスチックからアンモニアを合成するしくみについての説明を受けた。

・廃プラスチックから合成ガス(H<sub>2</sub>とCOの混合気体)をつくる過程、さらにこれを利用してアンモニアを合成(ハーバー法)するプラントなどの見学。

## 3. 参加生徒の感想

・普段講義を聴くことが多いので、外に出て実際に自分の目で見て学ぶことは新鮮でしたし、楽しかったです。また、参加したいと思います。

・出向くことで、さらにいろいろな話を訊ける機会が増える。いろいろな職業の人の話を訊けるので、有意義だと思う。

・教科書で読んで想像していた様子、実際の工場との違いを感じることができるのが良いと思った。

・2時間という短い時間だったけれど、プラスチックが再び原料になるまでの工程や工場の仕組みがよく理解できた。

・今日思ったことは、実際に行ったという記憶が強く残るということ。校外のこういう体験は、普段机上で学ぶ学生にとっては新鮮なものだと思ひ、これからも工場見学があり続けてくれたら、後輩達のためにもなるのではと思う。

## 4. 成果と課題

今回の見学会では、授業で学習したこと、社会とのつながりを実感させることができた。次年度も、学習していることがどのように社会で活用されているか学ぶことができる校外学習型のサイエンスカフェを企画したい。



アンモニアを合成する施設

## サイエンスカフェの多様な展開

## メディア情報のつくられる現場を見てみよう

国語科 畑綾乃

## 1. 目的

情報コミュニケーションの変化や、メディア環境の変化による報道の問題について、実際の現場の見学や報道に関わる方との直接交流を通して現在における報道の実際を知り、社会構造を科学的に捉える視点を身につけることを目的とする。メディアの双方向性、メディアソースの多様化、各メディア企業の変化等について、現場の方々と共に科学的アプローチを行う。



## 2. 講座の概要

(1) 平成27年12月9日

15:00~17:30 毎日新聞本社見学

〈見学プログラム〉記念撮影/ビデオ上映/新聞社の仕事について/取材の実際/記者講演:愛読者センター長/ディスカッション/各部署の見学

(2) 平成27年12月15日

16:30~18:00

東京新聞本社見学

〈見学プログラム〉ビデオ上映/会社説明:総務局次長/記者講演:社会部記者/ディスカッション/各部署の見学

(3) 平成27年12月24日

14:30~18:00

NHK放送局見学

〈見学プログラム〉局内見学と説明/ディスカッション/スタジオパーク体験/撮影現場の見学



## 3. 成果と課題

変わりゆくメディアの現状について、マスメディアの現場を実際に目で見て、直接報道に関わる様々な仕事に携わる方々との交流する中で、ディスカッションをすることができ、大変有意義であった。質疑応答も大変活発に行われ、生徒たちは、発信者と受信者の構造を客観的に捉え、情報メディアによる社会の仕組みについて考えるとよい機会となった。また、複数の現場に行くことによって比較する視点を持たせたことも、活動を深める大きな要因であった。